

1. 評価結果概要表

平成 20年 11月 15日

【評価実施概要】

事業所番号	2071100321		
法人名	有限会社 ウェルフェア・こだま		
事業所名	グループホーム・こだま		
所在地	中野市大字草間1071番地4 (電話) 0269 - 23 - 3777		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年10月29日	評価確定日	平成20年12月6日

【情報提供票より】(20年 9月 15日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤6人	非常勤2人 常勤換算7.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造一部木造 造り		
	2 階建ての	1・2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	17,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	400 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要 (9月 15日 現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護1	1名	要介護2	5名			
要介護3	1名	要介護4				
要介護5		要支援2	2名			
年齢	平均	81 歳	最低	66 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北信総合病院	宮本歯科医院
---------	--------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

長野県の北部、童謡の作曲家で有名な「中山晋平」の故郷である中野市に位置するホームである。管理者は、看護師でもありエレクトーン奏者でもあることから、開所以来音楽療法を行い、利用者も常に音楽のある生活の中で生き生きとされており、地区の文化祭の出番で合奏を、敬老会では演奏したり日頃の成果を皆さんに披露し活躍されている。近隣のデイサービスの催しへの参加、幼稚園の祖父母参観のお楽しみ会でお土産をいただいたり、小学校の運動会の踊りに参加するなど外出も兼ね地元との交流も積極的に行われている。近所の小学生がガブトムシを売ったお金で花火を買い、利用者と花火大会を開くなど、微笑ましい交流が行われ大変アットホームさが感じられ「楽しくていいぜ～」と言う利用者の居心地の良さが実感できるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 理念については、職員全員により「地域で安心して暮らし続ける事が出来るための支援」をする内容に、見直しされていた。介護相談員も前回の調査の頃は、まだ訪問が定期的まで至っていなかったが、今回では3ヶ月に1回市から定期的に介護相談員の訪問があることがうかがえた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、職員一人ひとりが気づきの為にも全員で行い、スタッフ会議で意見を出し合いまとめた。全員が行うことにより、日々のケアの確認にもなり、サービスの質の向上にも繋がると言える。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、地域包括支援センター2人・利用者家族1人・民生委員1人・管理者の参加の下に概ね3ヶ月に1回開かれており、ホームの活動内容などを報告している。7月に開かれたときには、ホームの利用料金改定についても説明されている。避難訓練の報告も行われているが、参加者が消防署員と利用者・職員であるが、非常時には地域からの協力も得られるよう働きかけるためにも、会議には地区の区長の参加依頼が求められる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 利用者の代理人も高齢であったり、面会も困難な方もおられるが、年2回発行しているホーム便りには行事や外出時の写真を載せ日頃の様子をお知らせしている。写真や行事予定の内容からも毎日が生き生きとした生活をされていることがうかがえ、家族からも喜ばれている。また、要望等があったときには、スタッフ会議で検討し改善に向け努力している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地区の文化祭やクリスマス会では、日頃の音楽療法での成果を発表したり、地域に密着した生活がうかがえる。生活面ではとけ込んでいるが、災害時等の協力体制はまだ出来ていない。今後の非常時に備え地域と連携が取れるよう整備されるためにも、運営推進会議に区長の参加呼びかけが必要であり、地区消防団はじめ住民の協力が得られるよう働きかけに期待したい。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまでの理念を見直し、「住み慣れた地域の中で、自分らしさや、誇りを保ち、安心とやすらぎのある暮らしをサポートします」を事業所独自の理念に掲げ、地域での生活を支えている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員で理念の見直しの検討が行われ、月1回の全員参加によるスタッフ会議には復唱し、理念の確認を行い日々ケアの実践に取り組んでいる。理念をいつでも何処でも確認できるよう、ホーム内の至る所に掲げられている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者の自宅に隣接しているホームであるため、地域の小学校・中学校・幼稚園から招待を受けたり、地区の文化祭にはプログラム1番に組み込まれ、日頃の音楽療法の披露を行うなど地元との交流が盛んに行われている。また、近くのデイサービスの行事にも声を掛けて頂き交流されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は外部評価の意義を理解し、今回の調査に向けての自己評価は職員全員でまとめた。一人ひとりが自己評価することで日々のケアの気付きにもなった。スタッフ会議では常に質の向上に向け活発な意見交換が行われている。		

グループホームこだま

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地区の民生委員、市の担当者、利用者の家族などが参加され、2ヶ月から3ヶ月に1回開き、ホームの報告を行っている。</p>		<p>区からの更なる協力を得るためにも区長にも参加して頂くこと、家族も一人に留まらず声掛けをし、活発な意見交換されることが望ましい。また、会議の内容を記録しておくことが求められる。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>前回の外部調査時には開設1年半の為、市の「介護相談員」の訪問が定期的には行われていなかったが、今は3ヶ月に1回の訪問があり相談に乗って頂いたり、情報交換が定期的に行われるなどサービスの質の向上に取り組んでいる。介護支援専門部会にも参加し市との活発な意見交換が行われている。</p>		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日頃の様子や外出時の写真が沢山入ったホーム便り「こだま便り」を年2回発行し、ホームでの生活の様子を知らせている。受診の付き添いも希望により行っているため、受診後は家族に連絡し結果を説明している。</p>		<p>ホーム便りは四季折々ぐらいを目安に発行したり、毎月の請求時に個々の担当者によるコメントを入れるなどし、家族との連絡も密にされることが望ましい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会が少ないということからお任せになっており、あまり意見を聞くことがない。面会時には声掛けをし、出来る限り要望など聞くようにしている。面会が困難な方には電話連絡している。</p>		<p>運営推進会議への家族の参加を一人に限らず声掛けをするなどし、大勢参加の中で家族会の促しなどされ、家族からの要望など気軽に意見交換出来る場所づくりが求められる。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>今年入られた職員が居るが、利用者と家族に説明し理解を得ており、利用者が不隠にならないよう積極的に声掛けをし、馴染みの関係づくりに努力している。訪問調査日も利用者とし柿をされたり、利用者で充分馴染んだ様子がうかがえた。</p>		

グループホームこだま

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、レベルアップにためにも研修への参加は積極的に考えており、職員に研修の参加を促し、参加出来るよう勤務にも配慮している。また、スタッフ会議には日々のケアの気付きなどを話題にし、経験豊富な管理者を囲み常に質の向上に取り組んでいる。		研修参加後は、スタッフ会議等で報告会を開くなどし、職員全員で情報の共有を図ることが望ましい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	北信地域のグループホーム連絡会に参加し、お互いの情報交換を行っている。相方のホームの職員が訪問するなどし、切磋琢磨する機会を設け、サービスの質の向上に取り組んでいる。当ホームも1日研修訪問が行われた。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームの雰囲気を感じていただくために、利用前に本人と家族でホームの見学をしていただき、納得して契約を結んでいる。利用者の中には独居に近い方もおり、親戚の配慮で利用している方もいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員にとっては人生の先輩でもあり、経験豊かな利用者から日頃の食事の味付け、工夫、畑の野菜作りなど、色々教えて頂いている。調査訪問時にも『昔は、何処でもやったもんだ』と、弾んだ会話をしながら干し柿を皆さんで吊してられた。		

グループホームこだま

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>契約時及び面会時などに、利用者の生活歴などの情報収集を行い、経験を活かしたケアに取り組んでいる。また、ホーム独自に音楽療法を行っているため利用者一人ひとりの役割分担の楽器があり、クリスマス会に向け練習され、地区の芸能祭では合唱で参加し、日々楽しみであることが利用者からうかがえた。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は利用者・家族の意見を聞き、利用者の担当職員からの意見と合わせ毎月のスタッフ会議で職員全員で検討し、計画作成担当者でもある管理者が介護計画を作成し、職員全員で確認している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は3ヶ月を目安に検討している。状態の変化が見られた時には、家族に相談の上その都度変更している。作成された介護計画は利用者・家族に見て頂いている。利用者の兄弟が代理人となっている方も何名かおり、高齢になっているが理解して頂けるよう分かりやすく説明している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>受診は基本的には家族に付き添いはお願いしているが、事情によっては自費で受診の付き添いも行っている。地元で長年住み慣れた管理者の自宅に併設されているホームであるため地元との交流も盛んに行われており、外出の機会が多い。</p>		

グループホームこだま

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用前のかかりつけ医を継続して居る方が殆どのため、状態の変化には素早く対応していただいている。管理者も経験豊かな看護師でもあるため、病院の付き添いなども行い医師との連携は充分行われている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用契約時に家族に本人及び家族の意向は聞き取りされているが、重度化した場合には気持ちの変化等もあるためその都度、主治医・家族・看護師でもある管理者と検討し、出来る限り希望に添えるよう支援している。また、重度化するに連れ医療行為も伴った時のホームでの生活の見極めも検討している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>開設して2年半であり、管理者・職員は「プライバシー保護・個人の尊厳」は常に意識し支援している。言葉掛けも以前生活されていた方言など交えながら、ゆったりと個々に合わせたペースで声掛けがされていた。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日の天気をみながら、畑で野菜作りをしたり、紅葉狩りを兼ね温泉に出かけたり、ドライブなど外出なども多いため利用者からも「毎日楽しいぜー」と、聞くことが出来た。また、理美容は管理者が、カット・毛染めなど希望に応じて支援している。</p>		

グループホームこだま

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>出来る限り利用者が食事の準備にも参加できるメニューの工夫をしている。野菜の調理、盛りつけ、配膳、片付けなど個々の力を発揮されていた。その日のお当番が食事の「いただきます」の号令をかけ、会話を弾ませながら食事をされていた。嫌いな物は調理に工夫し出来る限り食べ残しの無いように配慮している。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>何人かが入ることが出来る広い浴室には、湯船にも手すり・階段が付けられ安全性がうかがえた。入浴は一応、月曜と木曜の午前の週2回としているが、希望や体調にもよりシャワー浴にしたり敷地内に咲いているバラを入れバラ風呂を行ったり、近くの温泉に出かけるなど入浴を楽しめるよう支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>情報が得られる限り生活歴の情報収集を行い、日々の生活に力量発揮できるよう工夫している。調査訪問日も干し柿づくりや、クリスマス会の準備で「証城寺の狸囃子」の絵を切り絵で作成されていた。地区の文化祭では、音楽療法の日頃の成果を発表したり、毎月沢山の行事が盛り込まれており、利用者も活き活きされていた。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>敷地内の畑で野菜作りや、利用者の誕生日に合わせて外食・温泉・買い物などドライブも兼ね月に3～4回ほど購入した大型福祉車両で外出されている。ホームの窓から斑尾などの山が一望でき、四季が感じられ紅葉狩りを兼ね温泉に行ってきた事がうかがえた。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>以前は帰宅願望の方が居たが、今は落ち着いた生活をしている。夜間は夜勤者1名となるため、鍵をかけている。外出したい様子の時は、職員が察知し、声掛けをしたり一緒に散歩に出かけたり願望を抑えることのないよう支援している。</p>		

グループホームこだま

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>夜間想定を含めは難訓練を年2回行っている。一人体制の夜勤時でも非常災害又は緊急時には、管理者の居宅が敷地内にあるため常時駆けつけられる体制である為、職員も心強い。</p>		<p>車いす使用の利用者、今後レベル低下していく高齢である利用者の住まいであることから、区長にも運営推進会議に参加して頂き理解を求め、非常災害時には地域の消防団・地域の人々など地区からの協力が得られるよう働きかけが求められる。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士はいないが、調理師の資格を持った職員が3人いる。献立は全職員が当番制の中で家庭的な献立を立てているが、食事と水分摂取は記録し、把握している。看護師でもある管理者が健康管理されている。体調に合わせ職員同士で相談し調理方法などもその都度検討している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>1階の共用スペースには大きな窓があり、斑尾・黒姫方面が一望でき四季が一目で感じられる工夫がされている。2階の共有スペースにも、自由に過ごすことが出来るようゆったりとしたソファが用意されていた。1階と2階のテラスには楽しめるよう花鉢が沢山置かれ、洗濯を干したり、日向ぼっこが出来るようになっていた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は皆同じではなく、方向にもより工夫されている。本人や家族と相談し、馴染みの物が持ち込まれ居心地の良い居室づくりがうかがえた。物入れの棚にはあえて戸は付けず、置いてある物が一目で分かるように配慮されていた。また、寒冷地でもあるために、ホーム内にも洗濯物が干せるような工夫もうかがえた。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。